

はくちょう便り

～No.36～



いつもお世話になりありがとうございます。このお便りを読んでいただきありがとうございます。現在、新型コロナウイルス感染拡大による自粛ムードの中、政府は、長期にわたり感染拡大予防に努める必要から「新しい生活様式」の定着を進めています。はくちょうにおいても、必要な自粛・感染予防に取り組みながら、ご利用者さまへの影響・変化は最小限にとどめられるよう、各種リハビリ・クラブ活動・認知症予防において工夫をしながら取り組んでいます。今回は、より安心してご利用いただけるために『現在のはくちょう』を紹介していきたいと思います。

感染予防について

不特定の人との関わりを出来る限り避けることと、「3つの密」（①換気の悪い密閉空間 ②多数が集まる密集場所 ③間近で会話や発生する密接場所）を出来るだけ避けるために、外出喫茶などの外出レク ボランティアの受け入れを当面の中止とし、来園時のマスクの着用と、ご利用日当日の検温をお願いし、発熱・風邪症状あればご利用を控えて頂いております。もちろん職員に関しても出勤前の検温を行い、不要不急の外出は控えるよう周知しています。

マスクに関しては、ご利用者さまが手芸クラブで作られたマスクを配布させていただいたり、自宅で洗って持参されるのが難しい方には、はくちょうからマスクを配布させていただいております。おかげで、マスク着用率は100%です。ただこれからの暑い季節を考えると少々ぞっとしますが・・・送迎中の換気しながらの走行・施設や送迎車の消毒・カラオケマイクの消毒 などなど マスクと消毒はすっかり定着しました。

密を避けてリハビリ散歩！！



『密』を避けるために、しばらくの間、皆さん楽しみの外出レクを中止とさせていただいております。でもここは、太陽公園！！地の利を活かして天気の良い日は、『世界の名所！？』をめぐるいただいております。太陽公園には、山桜・ソメイヨシノ・八重桜が植わっており、3月終わり～4月半ばまで桜が楽しめます。今は、つつじと、街路樹のけやきの新緑がすごくきれいです。話も弾み、いい気分転換になりますね！！

マスク作りありがとうございます！！

手芸クラブの皆さまに「マスク」を作って頂きました。さすがは、手慣れたもの！！ここは縫製工場？かと思うほどに皆さんもくもくと作られ、ちょうどマスクが入手困難な時期にマスクをお持ちでないご利用者さまに配布させていただきました。本当にありがとうございました。「なんぼでも作るで～」と力強いお言葉に、元気を頂きました！！



「おばあちゃんの手作りクラフト」販売中！

手芸クラブで作った作品をタダで眠らせておくのはもったいない・・・ ということで、レストハウススワンの売店で、「おばあちゃんの手作りクラフト」と称し、販売しております。「ようけ売れたか？」と少々プレッシャーを掛けられながら、毎月売上報告を受けております。ちなみに昨年からはじめていますが、当初は中国人観光客のおかげで即完売！！ それからは・・・ そんなこんなで、ご利用者の方も作る楽しみがより一層大きくなった様子！！ ちなみに売り上げは、監査指導課に相談したところ、事業会計とは別けていただければ大丈夫とのことで、次回の作品の材料に充てさせていただき、ゆくゆくは皆さまに還元できれば・・・と夢は広がるばかりです！！



もちろんリハビリも継続中！！



なるリハ 14:00～15:00（こんなふうになるという目的を明確にしたリハビリ体操）や 脳若返りプログラム 15:40～16:00 認知症予防に効果的な運動プログラム（二重課題や有酸素運動を取り入れた）やもちろん個別リハビリなど、「家で暮らそう」を合言葉に、はくちょうでは楽しく無理なくリハビリが出来るような仕組みがあります。ご年齢も若く、より専門的なリハビリを希望されている方には少々物足りないかもしれませんが、大切なのは、楽しく元気でいたいという気持ちの継続だと思います。

認知症予防には自信を！！ 認知症対応には安心を！！

認知症予防には、食習慣・運動習慣・知的行動習慣など、認知症になりにくい生活習慣を保つことや、認知症で落ちる認知機能を意識的に鍛えるなど、デイサービスでできることはたくさんあります。はくちょうでは、希望者の方への定期的な MMSE テスト、脳若返りプログラムの実施、脳トレプリントと様々な認知症予防の取り組みを行っています。大切にしていることは、笑いと言の回復です。また、認知症の方への対応は、心地よい安心できる環境設定が重要です。広いスペースの中で安心する自分の居場所が確保されていたり、みんなが笑顔で接してくれる。そんな当たり前のことがもっとも大切だと思います。さまざまなプログラムを行うことよりも、どのように行っていくかが大切だと考えます。



ご本人への対応だけではなく、ご家族さまの負担の軽減も大切だと考え、例えば来所時に体調を崩された場合の受診の対応や、送迎時の細かなニーズへの対応、医療的処置が必要な方への対応など、出来ることは出来る限り行っていきます。ご家族さまをはじめ、ケアマネージャーさま・その他サービス事業所さまなど、それぞれの役割を互いに共有し合った上でのいい関係性と連携が最も重要だと考えます。

読みにくい長文をご一読頂き、ありがとうございました。（笑）

お問い合わせは デイサービスセンターはくちょう 電話 079-266-5858

お気軽にお問い合わせ下さい！！